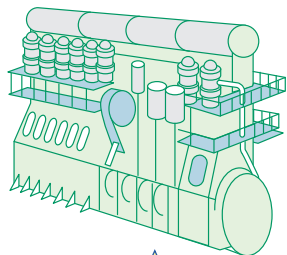


# マリンエンジニアリング学科

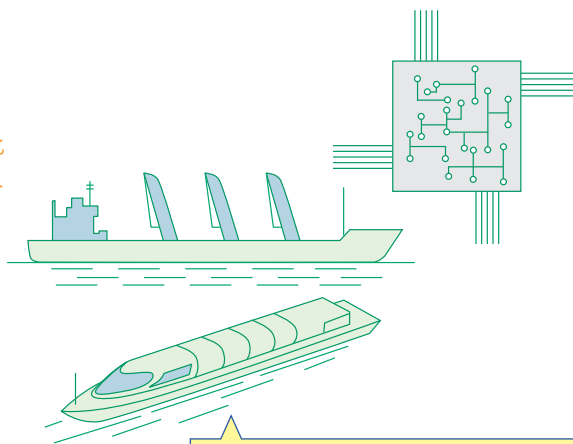
## 工学を広く学び 高度な技術を培う

船舶をはじめ、海洋に関連する機械・構造物の運転・運用について高効率化や環境負荷低減を図り、低炭素社会を実現するため、海事分野におけるエネルギー利用、メカトロニクス技術に関する学理を追究します。



### 低燃費・低排出ガスのエンジン開発、船舶運航

省エネルギーで、温室効果ガスの排出を抑えたエンジンを開発し、環境に負荷を与えない船舶運航をめざします。

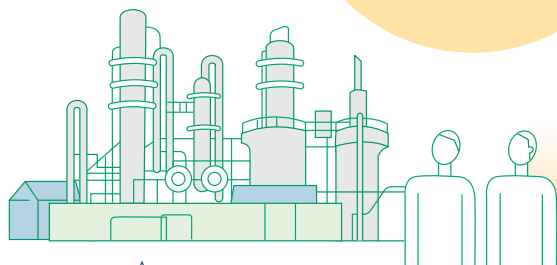


### エンジン、船舶運航、電気・電子・機械技術

環境配慮が重要になる現在、電気・電子・機械技術を駆使し、省エネでクリーンなシステムを構築・運用する人材が広く求められています。

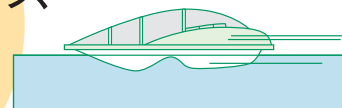
## 機関マネジメント コース

## メカトロニクス コース



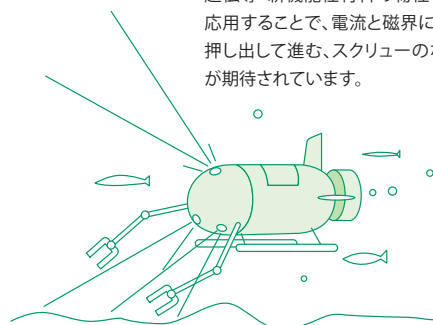
### エネルギープラントの設計管理

エネルギーの効率的な利用や、メカトロニクスに関する知識・技術を備え、エネルギープラントの設計管理や船舶の運航を担います。



### 超伝導船・エコシップ

超伝導・新機能性材料の物性を海事分野に応用することで、電流と磁界によって海水を押し出して進む、スクリューのない超伝導船が期待されています。



### 海洋ロボット開発

メカトロニクスや流体力学などを駆使した海底探査機の開発は、エネルギー資源に乏しい日本において今注目されている先端分野です。

### ■養成する人材像

#### ●機関マネジメントコース

- ▶船舶機関管理分野の国際的リーダー
- ▶船舶運航に関する実践力を身に付けた人材

#### ●メカトロニクスコース

- ▶工学基礎と機械電子の専門基礎を修得した人材
- ▶各種輸送機械、エネルギープラントの設計管理、船舶の運航を担う人材
- ▶関連政策立案に携わることができる人材

### ■進路イメージ

#### ●機関マネジメントコース

- ▶船舶職員(機関士)
- ▶船舶管理監督者
- ▶海事行政官(船舶検査、海技試験、港湾設備)
- ▶大学院進学 など

#### ●メカトロニクスコース

- ▶船用機器技術者
- ▶プラントエンジニア
- ▶造船・重工業技術者
- ▶中央・地方行政官(海事、運輸)
- ▶大学院進学 など

### ■取得可能な資格

#### ●機関マネジメントコース

- ▶高等学校教諭一種(商船) ※資格取得可能
- ▶三級海技士(機関) ※受験資格(筆記試験免除、口述試験受験資格)
- ▶海技士免許講習(機関系3種) ※資格取得可能
- ▶船舶衛生管理者 ※受験資格(講習の一部免除)

※三級海技士(機関)・船舶衛生管理者の受験資格を得るためには、海事科学部を卒業後、乗船実習科(26ページ参照)を修了する必要があります。